

大学院 《●博士前期課程 ●博士後期課程》

工学研究科

大学院工学研究科(博士前期課程(修士課程))は、工学部1期生の卒業に合わせて2002年4月1日に設置され、続けて2004年4月1日には博士後期課程(博士課程)が設置されました。本研究科の創設により、地域社会に学部と研究科から多くの人材を多層的に輩出することができ、これまで国立大学工学系の学部・研究科がなかった香川県の地場産業振興に大きなインパクトを与えることができるようになりました。

学生は、専門分野の最先端の講義に加え、継続的な英語学習、海外の協定校との国際インターンシップ、地元企業と連携したチームによる課題解決型のインターンシップ、修士論文研究、学会等での精力的な発表などにより課題発見・解決力、設計力、コミュニケーション力を備えた人材として育てています。

安全システム建設工学専攻

建築・土木分野に関する、より高度な専門知識と判断能力を有する人材を育成するため、「環境」・「安全」・「性能」を中心に据えた教育研究を実施しています。また、技術士補や土木学会認定技術者などの資格を取得するように学生を指導し、建築・土木分野の専門技術者として活躍できる人材を養成しています。さらに、指定科目を履修し修了すれば、建築実務経験年数0年で1級建築士を受験できます。

信頼性情報システム工学専攻

学部教育を発展させ、より専門性の高い情報技術者、電子通信技術者を育成しています。講義科目を通じて関連業界の業務に役立つ知識を修得し、学部教育だけでは不足する現在の最先端の技術について学びます。また、研究活動を通じてコミュニケーション能力、調査能力、設計能力、プレゼンテーション能力等を鍛錬し、情報通信分野における工学的問題解決能力を総合的に養っています。

知能機械システム工学専攻

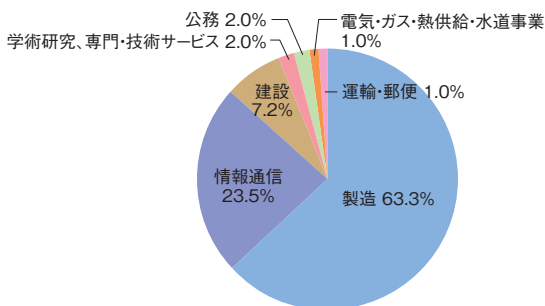
人と人工物が共生する新しい知能機械システムの構築を目指して、人間活動を支援するロボット工学やコンピュータ応用技術を追求し、人の活躍する空間を広げ、より豊かにする高度なメカトロニクスを中心とした研究を行っています。機械・電子・制御技術全般にわたる総合的な知識・技術を持ち、知能機械工学の分野の研究開発を主体的に行える人材を養成しています。

材料創造工学専攻

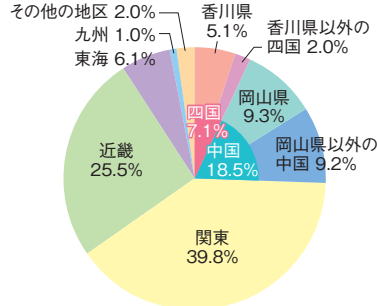
光・電子材料科学、機械材料科学、環境材料化学の三分野に関連する開発研究を推進できる専門性の高い科学技術者を育成します。省エネルギー、循環型、環境対応などを大目標として、金属系、セラミックス系、高分子系などの新素材の開発や、ナノテクノロジー、生体材料など、広い分野に役立つ新機能に関する教育研究を行っています。



業種別就職状況
(2020.3 修了、博士前期)



地域別就職状況
(2020.3 修了、博士前期 ※進学者を除く)



出身都道府県別
修了見込者数(2022.3 博士前期)

岡山	26
香川	21
愛媛	8
兵庫	7
徳島	5
京都	3
高知	2
大阪	2
その他	17
計	91(人)

主な就職先(博士前期課程)

アオイ電子、STNet、NTTドコモ、NTT西日本、大倉工業、倉敷化工、サイバーエージェント、JFEスチール、JFEプラントエンジ、四国計測工業、四国電力、シャープ、新日鐵住金、住友重機械工業、大王製紙、タダノ、日本ビラー工業、日立金属、富士通、マキタ、マツダ、三井住友建設、三菱自動車工業、三菱電機、村田製作所、メルカリ、ヤフー、ユニ・チャーム、四電工、楽天、レクザム、香川県庁 など

※工学部・大学院工学研究科について、詳しくはhttps://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_eng/をご覧ください。
また、創造工学部については、https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/をご覧ください。